

特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.33

平成21年度 イマジン総会

5/16(土)に、平成21年度のイマジン総会が執り行われました。今年度は、例年以上に忙しい時期だったようで正会員の皆さんの出席がとても少なく心配しましたが、島田市の桜井勝郎市長を始めとして、平松吉祝議員(島田市)、島田市福祉課、近隣の支援センターの方々などの来賓の方々にも盛り上げていただきました。特に、桜井市長には「障害者が安心して暮らせる市を目指す」「行政に頼るばかりでなく、自分たちも頑張る姿勢が大切」と心強いお言葉と激励のお言葉を笑いを織り交ぜた楽しいお話の中でいただきました。

今年度の議事は、前年度報告と今年度計画・予算のみだったこともあり、しっかりと報告させていただくことができました。イマジンの昨年度の取組み、それを継続していく今年度の計画・予算は出席された正会員の皆さんに理解しやすいものだったかと思えます。前年度との大きな違いとしましては、事業計画では前年度まで計画段階だった短期入所(ショートステイ)と日中一時預り事業(各市町の地域生活支援事業)を実施することです。(県への申請済み。7月以降、認可が下り次第実施予定)この地域の状況も含めて、正会員の中からも「欲しい!」との声が高まってきています。また、前年度、グループホーム・ケアホームを実施していく中で同じ“住まいの場”であっても“一時的”“緊急性”には短期入所が必要だと実感しました。イマジンでは、グループホーム・ケアホーム“つつい雨やどり”にてこれらの事業を実施することで前記した問題に対応していき、グループホーム・ケアホーム自体の必要性とあるべき姿を考える機会にもして、次なるグループホーム・ケアホームに向けて事業展開していきたいと考えています。

後半は、出席者全員参加で“しゃべらまいか”とトークディスカッションを行いました。イマジンの今後の事業展開、特にグループホームと日中活動について、障害者自立支援法について、成年後見人などの親亡き後の財産・金銭管理について、この地域の現状やサービス利用の不具合、サービス事業者の少なさ、などなど…。質問や意見がたくさん出されました。イマジンとしてお答えするばかりではなく、ご臨席いただいた支援センターの来賓の皆さんにもコメントをいただき、ひとつずつ時間をかけて一緒に考え、お話しすることができました。答えの出る話題ばかりではありませんでしたが、参加者全員で時間を共有し、自分一人では気づくことのない話題から新しい情報や知識をいただき、時間が過ぎるのを忘れて充実した時間を過ごしたことと思います。最後には、イマジンのスタッフにコメントを発表する機会も作っていただき、無事に総会を終了しました。

少人数ではありましたが中身の濃い総会を執り行うことができました。本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。総会を終え、気持ちを新たに新年度事業に邁進していきます。



総会議事の様子



トークディスカッションの様子



“つつい雨やどり”の生活 ⑤

今回はつつい雨やどりでの食事についてお話したいと思います。食事は生活の基本であると同時に、入居者の皆さんの大きな楽しみの1つでもあります。そのため、世話人は日々メニュー作りや食材等の調達・管理方法に頭を悩ませています。つつい雨やどりでは、1週間ごとにメニューを決めています。自治会で挙げていただいた希望のメニューや好評だったメニューを取り入れながら、魚・肉・野菜など栄養をバランス良く取れるように、味だけでなく見た目も満足できるように、嫌いな物もできるだけ食べられるように、季節のものも取り入れて…など沢山の事に配慮しながら決めていきます。買い込んだ料理本を片手に、「主菜は…副菜は…」とメニュー作りに励んでいます。



楽しい夕ごはん♪

と、言っても今だからこそ食事にとっても気を使っていますが、スタート時は日々の世話人にメニューをお任せしていました。その日に調理担当になった世話人が食材等の在庫を見てメニューを決定し、調理していました。そのため、量やバランスにばらつきが出てしまったり、同じ様なメニューが続いてしまうこともしばしば…。冷蔵庫にある食材もマンネリ化してしまっていました。このやり方に限界と不十分さを感じメニュー作りを始めましたが、栄養管理に関しては素人だったため、なかなか上手くいかず…。そんな時、入居者のMさんに糖尿病が発覚しました。それをキッカケに、食事について全面的な見直しを始めました。糖尿病専門医のいる病院に転院したMさんの通院に同行させて頂き、糖尿病と食事療法について猛勉強。世話人みんなで勉強会を行



メニューや管理表の数々

い、共通理解を図りました。管理栄養士さんからも、メニュー作りの基礎とポイントについて指導を受けました。それらを基に試行錯誤しながら、すべての栄養素をバランス良く取り入れ、味付けや量にも気を配ったメニュー作りを行っています。全面見直しの甲斐もあり、現在はMさんの糖尿病も安定。管理栄養士さんからお褒めを受ける程になりました。『毎日の事だから何とかできるだろう』『これくらい…今日ぐらい、いいだろう』とあまり深く考えていなかったのですが、毎日の事だからこそ大切で大変！という事に気付かされました。ま

た、Mさんだけでなく肥満傾向にあった方や痩せ過ぎている方にも応用して、入居者の今の状況にあった食事を提供することができるようになりました。

メニューが出来上がると、次に課題となってくるのは食材の調達と管理です。皆さんは10人分の食事を作ったことがあるでしょうか？？毎日10人分の食事を作るとなると、材料の量も多量になります。食パンを例に取ってみても、1回の朝食で必要な量は最低3斤！！入居者の皆さんはパン希望が多いため、3日間パンの日が続くと10斤は必要です。牛乳も1日に3本近くは無くなってしまいます。メニューに沿ってそれだけの材料を買い出しに行き、管理しなければなりません。必要食材とその量の確認、購入日と購入場所の確認、余った食材の管理、賞味期限の管理、そして食費の管理などなど・・・食材の管理だけでも以外に大きな労力を必要とします。現在は、おうちコープや肉屋さんの配達を利用したり、良く使う調味料や乾物を多量にストックするなどして買い物の負担を軽減。また、野菜類等にも購入日を記載するなど賞味期限管理も徹底して行うようにしています。日々、調理担当者が変わる中でもしっかりと・確実に・分かりやすく食材管理する方法を模索しています。

たかが食事、されど食事。生活していく中で重要な事だからこそ、楽しみの1つであるからこそ、大切にしていきたいと考えています。

(担当 北川)



食材倉庫のストック

救命救急講座の開催



いよいよ夏休みが近づいてきました。家族やヘルパーとの外出機会も増える時期です。もしも家庭で…外出先で…事故や発作、怪我をした場合に落ち着いて対処ができますか？救急車を呼ぶときに適正に救急隊の方に説明ができますか？緊急時は誰でも冷静さを失いがちです。そんな、あってはならない緊急時の適正な対処法を教えてもらう“救命救急講座 ～あなたならどうする？～”を下記の日程により開催します。イマジンがヘルパー事業を行うようになってから3人の利用者が自宅での発作による転倒や病気からの体調異変等により、お亡くなりになっています。また、昨年度は当法人職員が水難事故で亡くなっています。早期の発見はもちろんですが、発見後の迅速な対処がその後の本人への影響を左右します。

是非、いっしょに救命救急の勉強をしませんか？たくさんの方の参加をお待ちしています。

日時 7月13日(月) 午前10時～12時

場所 島田消防署(島田市旗指)

内容 緊急時の対応、救急車の呼び方(絶対伝えなくてはならないこと)、救急車が来るまでにやるべきこと…など

※ 駐車場に限りがありますので、なるべく乗合でお願いします。



遠位型ミオパチーの治療法が見つかりました！

昨年度の総会にご出席していただいた方は記憶にあると思いますが、イマジン理事でもあり、この病気の当事者でもある原田君江さん(島田市在住)の呼びかけにより、昨年からの署名活動を応援していた「遠位型ミオパチー」の有効な治療法がついに発見され、6/10に発表されました！！多くの皆さんが署名活動にご協力してくださいましてありがとうございました。

遠位型ミオパチーは手足の先から筋肉が萎縮していく難病です。今回有効な治療法が見つかった「縁取り空胞型」は、10代後半から30代後半に発症し、10年ほどで歩けなくなると言われていて、日本には患者が400人程度しかいない希少疾病です。今まで原因は発見されていましたが治療法は無く、進行していくのを止める事ができませんでした。しかし、今回、その進行を止めるのに有効な物質がマウス実験で発見されたのです！！今後臨床試験で確認される必要がありますが、治療法の確立へ大きな第一歩になると期待されています。



しかし、まだまだ大きな壁が立ちはだかっています。安全性を確認するための研究費は最低でも1億円、あるいはそれ以上と言われています。さらに、患者がとても少ないため採算が見込みにくく、製薬会社もなかなか治療薬の製造に名乗りを上げてくれません。そんな状況下でも、患者の皆さんの進行は日々進んでいきます。やっと見えた治療法を出来るだけ早く原田君江さんの元に届けるためにも、今後も皆様のご理解とご協力をお願いします。



総会でお話する原田さん

遠位型ミオパチー患者会ホームページにてオンライン署名も募集しています。今年まだ署名をしていない方で、パソコンや携帯電話をご利用の方は是非、このオンライン署名にてご協力下さい。(HP: <http://enigata.com>) なお、署名用紙はイマジンにも用意してあります。多くの皆様のご協力をお待ちしています。(担当 北川)



平成21年度の会員になっていただきありがとうございます。

☆青嶋 勝男様	☆大塚 信子様	☆岡崎 金二様	☆加藤 泰雄様	☆加藤 佳宏様
☆金子 信義様	☆菅 位作男様	☆喜田 星夫様	☆北川 淳子様	☆小園 誠二様
☆小長谷 一夫様	☆斎藤 哲夫様	☆榊原 顕寿様	☆桜井 順子様	☆佐藤 博様
☆柴 勲様	☆杉本 唯夫様	☆杉本 斉様	☆鈴木 康之様	☆高橋 聡子様
☆竹内 伊知朗様	☆立石 久様	☆田中 進様	☆田中 久規様	☆田村 淑子様
☆堤 英子様	☆戸塚 和重様	☆内藤 隆様	☆永井 孝次郎様	☆中川 一男様
☆中嶋 春夫様	☆仲田 るみ子様	☆名波 久範様	☆西川 剛弘様	☆橋ヶ谷 正彦様
☆藤永 よしえ様	☆藤巻 正人様	☆増田 孝子様	☆増田 俊彦様	☆松本 聖市様
☆松本 秀男様	☆三浦 勇様	☆宮浦 克枝様	☆宮地 喜弘様	☆村上 操様
☆森下 郁乃様	☆森田 茂様	☆森本 輝一様	☆安井 茂様	☆山村 勝様
☆山内 佐敏様	☆山内 美保様	☆山河 勇治様	☆山本 隆行様	☆山本 珠美様
☆吉添 みえ子様				

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても下記口座まで振り込まれても結構です。イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですので、今年度もイマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。



正会員 5,000円 ・ 賛助会員(個人) 1,000円 ・ 賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

お知らせ

◆◆ グループホーム・ケアホームでの暮らしを考える ◆◆

「グループホーム・ケアホームってこんなところですよ」と題して、どんな風に暮らしているのか?、いくらぐらい必要なのか?などなど…近隣の市町で現在GHCH事業を行っている事業所の協力を得て、それぞれのGHCHの紹介をしてもらいます。後半はシンポジウムで、実際に生活している入居者にスポットを当て、生活の様子・暮らしぶりなどについてお話しします。

日時：平成21年7月11日(土) 午後 1:00開場 1:30開演 GHCH紹介・シンポジウム

場所：吉田町学習ホール

費用：無料

主催：生活支援センターやまぼと (電話 0548-29-0223 / FAX 0548-29-0157)

イマジンでも、申込・お問い合わせはお受けします。お気軽にお申し込み・お問い合わせください!



連絡先 特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4

TEL 0547-34-3370

FAX 0547-34-3371

e-mail imagine@za.tnc.ne.jp

URL <http://www3.tokai.or.jp/imagine/>